

NARO

広報なる

National Agriculture and
Food Research Organization

NO.

29

2023



研究職員

農業・食品分野における Society 5.0を早期に実現するために農学だけでなく工学・情報学・経済学などの多様な分野の研究職員が相互に連携・共創し、研究開発を進めています。イノベーションで農業・産業界に貢献する研究者として育成しています。

詳しく知る

P.3-4

技術系 (種苗管理)

新品種の栽培試験や原種の生産・配布などの業務を通じて、日本の農業に貢献しています。

詳しく知る

P.9-10

技術系 (動物衛生)

動物衛生研究部門の業務をサポートすることで、日本の家畜防疫に貢献しています。

農研機構で働く。

日本の農業と食品産業の発展のため、基礎から応用まで幅広い分野で研究開発を行う農研機構では、1,700名超の研究職員と、その研究を支える一般職員が働いています。この号は、各職場で活躍する職員の仕事内容や、職務への思いなどをご紹介します。

事務系

研究者が最大限の成果を生み、またその成果が社会で活用されるよう、管理運営面(総務、会計、知財、広報、施設、産学官連携、国際など)から研究者をサポートしています。

詳しく知る

P.7-8

技術支援系

大農機具操作、農場作業、実験動物飼育や研究支援業務を担当し、研究者をサポートします。

詳しく知る

P.5-6

VOICE from NARO



理事
(人事、人材育成担当)

水町 功子 MIZUMACHI Koko

農研機構には、能力を最大限に 発揮できる環境がある

農研機構は、農業・食品産業の発展のため、さまざまな分野で研究開発を行っています。さらに、国際情勢の変化やコロナ禍など、世界を取り巻く状況が大きく変化している中で、農業・食品産業を「伸びしろのある成長産業」としてとらえ、食料自給率向上と食料安全保障、農産物・食品の産業競争力強化と輸出拡大、生産性向上と環境保全の両立に貢献することを目標に掲げ、基礎・基盤研究だけでなく、成果を普及・事業化・産業化へと展開し、社会実装に務めています。そのため、農研機構には、研究開発を行う人材だけではなく、企画、産学官連携、知財・標準化、広報、情報、法務、人事・労務管理、技術支援など、様々な分野の人材が活躍しています。

ところで、広辞苑で「人材」とは「才知ある人物、役に立つ人物」とあり、漢字では「人財」と記載することもあります。農研機構においても職員は重要な財産と位置づけ、それぞれの個性を大切にしつつ能力の開発を推進し、人材育成に取り組んでいます。すなわち、自身の技術、スキルを磨くと同時に、新たな挑戦、自由な発想

を大切にし、キャリアアップのための場を提供しています。また、多様な人材が活躍できる職場風土を構築し、新たな価値を創造するダイバーシティ&インクルージョンを推進しています。2017年女性活躍推進法に基づく認定マーク「えるぼし(3段階目)」、2021年次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」も取得しました。性別、国籍を問わず誰もが前向きに仕事を行える環境整備が進んでいます。能力を最大限に発揮するための環境がある、それが農研機構です。

農業・食品産業に興味のある方、生き生きと働ける環境をお探しの方、多様な人材が集まり育つ農研機構で、日本の農業・食品産業の未来をともに創ってみませんか。

本号では、様々な職種・分野の若手職員から、それぞれの立場で、やりがいやチャレンジしたいことなど農研機構で働く魅力を紹介しています。

広報なる **NARO** 2023 NO. 29
National Agriculture and Food Research Organization

contents

03—12 特集 農研機構で働く。

13 NARO topics



現場に近い研究をしたかったんです。農研機構では、現場に近い立ち位置での研究が行われていましたので、採用が決まった時はとてもわくわくでした。

九州沖縄農業研究センター
暖地畑作物野菜研究領域 施設野菜グループ
日高 功太 主任研究員

イチゴの光合成を計測しているところ

先日は、福岡県のナス農家さんのところに装置を付けに行ってきました。現場で役立つといいな!



ブラボー!!
でも、緊張しました!

日高くんは熱心で、優秀な研究者です!

農家さんのことを常に考えている人です!



壇和弘主席研究員(左)と先輩の高山智光上級研究員(右)



業務科 竹迫美登梨 チーム員(左)と中原俊二 チーム員(右)



職場の皆さんと



率的なCO₂施用技術も開発し、表彰を受けました。
第17回若手農林水産研究者表彰受賞(令和3年度)
「光合成の動態解明に基づくイチゴの精密環境調節技術の開発」

研究者として

私の研究スタンスは、「生産者さんを第一に考える」です。生産者さんに喜んでもらえるように技術開発をしていきたら、それが表彰につながりました。今は、開発した技術をイチゴ栽培だけでなく、他の品目にも普及拡大させることに取り組んでいます。

農研機構について

普段はあまり意識することはないですが、シャインマスカットやべにはるかのような農研機構が作った品種を私たちは日常的に食べています。このように、農研機構は農業を通して皆さんの食に直結している職場だと思えます。農家さんに技術を喜んで利用していただき、収益増を実感してもらおうことができる職場ですから、大変やり甲斐のある仕事だと思いますね。

開発技術で受賞!

イチゴの増収を目指し、光合成促進と多植栽培を組み合わせて慣行比2.5倍の超多収生産技術を確立しました。さらに、ハウス全体ではなく葉の近くの局所に必要な時にだけ施用する効

職場

なぜ農研機構へ? 農業との接点は農家だった祖父父母で、小さい頃から農作業を手伝っていました。人間を含めた動物は光合成の恩恵を受けて生きています。大学時代にその光合成に興味を持ったのがきっかけです。光合成等の植物の動きを測るの得意とする研究室に所属し、卒論や修論研究では、トマトやイチゴの光合成を促進させて増収につなげることを研究テーマにしていたんです。イチゴの光合成促進のための研究は大学院から始めましたが、農研機構に入った今でもその研究は続いています。



東北農業研究センター
水田輪作研究領域 水田輪作グループ
今須 宏美 研究員

学生時代は、水稲の有機栽培の研究に取り組みました。その時に農家さんから色々なお話を伺い、有機栽培の研究者になりたいと思うようになりました!

東北研育成の耐倒伏性多収品種「ゆみあずさ」の収量調査をしているところ

なぜ農研機構へ?

農業従事者の減少と高齢化に加え、農業資材等の価格が上昇して生産が苦しくなってきたという農業の課題を知り、できるだけ資材投入を抑え環境にも配慮した栽培技術体系や省力的な生産方法を、生産者の方と一緒に研究していきたいと思いました。現場に出て、現場での課題を把握し、職場に持ち帰って研究をしてその成果を生産現場に還元、そういう研究をしたいと考え、生産者と連携した試験研究にも力を入れている農研機構で働きたいと思いました。採用が決まったときは、日本の食糧生産の課題解決のために何か自分が役に立てる、そのスタートラインに立てるんだなとうれしく感じました。

職場

秋田にポツンと一人で来て不安はありましたが、初日にどきどきしながら挨拶に行ったら、上司や先輩研究員、パートさんも含めて皆さんが温かく迎え入れてくださり、とても安心しました。

力を入れている研究

秋田の大仙研究拠点への配属当初から取り組んできた水稲の湛水直播栽培の

中学から大学まで陸上部。私がこのグループに配属になったのも、陸上部出身で体力があるというのが理由らしいです(笑)



研究者として

一つは直接現場の農家さんにつながるような研究者でありたい。もう一つは公設試験場さんやJAさんのように生産者の皆さんへの指導をされている方々に情報を提供できるような研究者になりたい。農業は、日本の食を支えるだけでなく、文化や自然環境を守って未来に伝えていく役割も担う、誇りある職業だと思っています。研究者という立場から生産者の皆さんの役に立てたり、日本の伝統や文化を守っていくことに貢献できたりするのはすごく幸せなことだと感じています。

農研機構について

農研機構の強みは歴史があること、研究活動を支える手厚いサポート体制があること、蓄積されたノウハウを活かして、多様な分野の研究者と連携して広域の課題に取り組めるのがとても大きな魅力だと思います。

明るい今須さんのおかげで和気あいあいです。



グループの皆さん

今須さんは明るく、積極的で、悪いところを見つけれません!



先輩の伊藤景子研究員

秋田100キロマラソン(2022年)





管理本部技術支援部
中央技術支援センター
つくば第6業務科 金谷技術チーム(静岡)
倉橋 慶伍 チーム員

農業大学校時代の先生や、在学中に知り合った方々と茶業学会で再会し、食事をする機会がありました。同じ立場ではないですが、再会できたのはうれしかったです。

官能検査の様子

お茶の世界って、わびさびの世界かと思っていたら、ゴリゴリの肉体労働なんですよ!



思い出
農業大学校では茶園実習があり、生産者さんのお茶にかける思い・技術の高さを目の当たりにして、奮起しました。毎日茶園を朝一番に見に行つて、製茶だけではない栽培のことも学びました。進んで掃除もし、きついこともいろいろありました。』というふう

とても親切に教えてくれる男前の先輩です!



業務科研修生
(右)角さん/筑後市出身、
(左)馬場さん/八女市出身



大上 猛
金谷技術チーム長



研修生を指導する様子



ほ場

富士山も見えます!



必要とされる人になりたい!

なぜ農研機構へ?

鹿児島県・種子島の出身です。地元は農業や漁業が盛んな地域で、高校は農業学科に入学しました。畜産や安納芋やさとうきびについて学んでいて、農業に対してすごく興味を持ったので、それで農業大学校に入ろうと思いましたが、その時にせっかくなのでやったことのないことをやってみようと思ひ込んだのが茶業の世界でした。

仕事の内容

ほ場の管理、製茶、官能審査をしたり、未来の茶業を担う研修生を指導したりしています。また、研究員さんとメーカーさんとの共同試験の調査に行ったり、金谷拠点のプロジェクトの成果発表等の説明や撮影もやります。一番茶の時期は枕崎拠点に一週間ほど技術支援にも行きます。

メッセージ

ありのままに入って、ありのままの自分から成長していけば良いと思います。



管理本部技術支援部
中央技術支援センター
つくば第4業務科
鈴木 莉奈 科員

業務では作業内容をデジカメで写真や動画として記録し、後で見返して「何が必要だろう」など作業内容の振り返りをしています。

自分の業務が研究に貢献できていると思うとうれしいです!



仕事の内容
半年の研修後、業務科に配属され、研究部門の支援を担当しています。具体的には、研究に使うイネや大豆、野菜などを育てています。また、トラクターに乗っての農作業からイネほ場の土壌中のメタン測定まで業務は多岐にわたります。配属後の1年は先輩や上司に教わりながら仕事を覚えていき、4年

農研機構について

入る前は研究機関ということで、堅いイメージでした。入ってみたら、全国に職員がいることに驚きました。業務においてもいろんな考え方があって、しかも柔軟な発想で、「おもしろいな」と思いましたし、「入ってよかったな」と思います。お休みも計画的に取れるところも良いところです。

メッセージ

入ってから学び、身につけていくことができます。不安なこともやってみることで、不安がなくなります。迷わず飛び込んでみてください!

いつも落ち着いて仕事を進めています。しかも作業の進め方がとても上手で私も見習うところがあります。



上司 富山浩和 班長
先輩 大中見咲 科員
後輩 牟田裕貴 科員

とても明るい人で、仕事を教えてくれる時も、明確に指示を出してくれるのでわかりやすいです。

何でも率先してやってくれ、勢いがあります。明るい人柄で班のムードメーカーにもなってくれています。



業務に関する質問にも丁寧に答える
長田直輝 科員(左)、富山 班長(中)



職場の皆さん



次ページ...管理運営面で研究を支える:事務系

研究体制、職場環境を整える縁の下の力持ち。物品などの契約手続きを行う部署、研究成果を正しく管理する部署、栽培技術など

の発明や品種などに必要な手続きを整える部署、情報発信を行う部署など、その業務は多岐にわたります。





農研機構では、デザイナーが活躍できる部署や業務があります!

広報



広報部 広報課ウェブチーム
大越 康弘 主査

仕事について

農研機構では珍しく大学の芸術学科を出ています。今は機構のホームページを中心にウェブ関連や印刷物、屋外看板まで幅広くデザインしています。同時に、機構のデザインを管理・統括しています。

デザイナーとしての喜び

機構のホームページのデザインなどを手がけていましたが、だんだんとデザインが認められて、広報部以外の部署や各研究所からも依頼されるようになりました。デザイナーとしてはうれしいことです。しかも、手がけるデザインの数が増え、種類が広がったことで、農研機構のブランドイメージに統一感をもたせることができています。



農研機構の良いところ

僕が入ったばかりの時、ちょうどお子さんが生まれた男性上司が育休を取得されました。当時は、今ほど男性の育休が一般的ではない頃でしたから、「先進的だなあ」と思いました。保育園から呼び出しがあっても「お互い様」という感じでフォローし合って、気兼ねなくお迎えに行ける雰囲気があり、誰もが働きやすい環境だと思います。



広報課ウェブチームの皆さん

\\こんな人\\

一緒に仕事していて楽しい人、優秀な人です。シャイだけど、人柄も良く、チームの要です。ニックネームは「先輩」。頼れる「先輩」です。



上司
山田

「特許出願」や「品種登録出願」に関わる、必要な手続きを整えるのが私の役割です。

知財



西日本農業研究センター
兼知的財産部知的財産課
高木 理恵 主査

仕事について

研究から生み出された発明などを研究者からの要望を受けて、「特許出願」や「品種登録出願」に必要な手続きを整えるのが主な仕事です。ただ手続きをするだけでなく、研究成果が生まれた背景を知り、発表のタイミングなども考慮して研究者と調整する必要があります。時には困難なことがあります。うまくいった時は達成感がありますよ!

仕事の面白さ

特許出願などによって、より多くのメリットを得られるように研究者と一緒に考えていくのが、一番面白いです。

農研機構の良いところ

完全に営利目的な訳でもなく、完全に公のためだけに尽くす訳でもなく、その中間という立ち位置は非常におもしろいなあと感じます。農研機構で生まれた大切な研究成果が、研究の現場においても農業・食品産業界においても「うれしいもの」として受け入れられるように、多方面から考えていけるのは、農研機構ならではの良いところだと思います。



西農研のほ場をバックに



西農研の皆さん

\\こんな人\\

「困った時の高木さん」です! (富岡) とてもがんばり屋さんで、難しい仕事もあきらめない人です。(阿部) 爽やかで凛としていて、心に寄り添った対応は抜群です。(西村)



先輩
富岡



先輩
阿部



上司
西村

農研機構職員であり、大学院生です。

推進



企画戦略本部 研究統括部
研究推進総括課
オン 碧 チーム員

仕事について

1,700人以上の研究職員が生み出す成果を正しく管理し、公表するための制度作りをしています。また、制度作りなど規制するだけでなく、研究職員の事務作業の負担を軽減するような手続きの簡便化から、業務改善も行っています。

働きながら学べる

私の夢は「日本・世界・宇宙中の食卓を笑顔にすること」です。夢の実現のため、農研機構の業務とは別に、休日や終業後の時間を活用して大学院に進学しています。大学院の研究を通じて、国際宇宙ステーションで行われている日本初のアストロバイオロジー実験『たんぼぼ計画』に参画していますが、こうして幅広く活動できるのは、働きながら学べる雰囲気と支援体制が整っている農研機構だからです。



大学内ラボでの実験風景

農研機構の良いところ

大きく2つあります。まず、毎日新しい技術や成果、品種が誕生していることです。近所のスーパーで農研機構の品種を見つけることが日々の楽しみであり、誇らしいことです。もう一つは、『ムーンショット』や『SIP』、『PRISM』など国家的な研究プロジェクトに多く参画していることです。それらのプロジェクトを通して、日本の科学技術の発展に貢献していることを感じることもできます。



研究推進総括課の皆さん

\\こんな人\\

後輩の私にとっては、仕事も私生活についても相談に乗ってくれる「すごい人」です。明るくて職場のみんなが大好きです。



後輩
和田

契約手続きを通して、機構内のあらゆる部署の人と関われるのが魅力です!

調達



管理本部総務部
会計課調達チーム
折原 優太 チーム員

仕事について

物品や役務、工事などの契約手続きを担当しています。機構内のあらゆる部署から依頼が来るので、いろんなことを知ることができ、視野が広がったと思います。



OJTがあるので安心して学べた

農研機構に入って配属されるまでは「調達」がどんな仕事をするのか想像が付きませんでした。そんな状況でしたが、メンター的な先輩によるOJTがあったので、安心して業務に取り組むことができました。ちなみに大学では農業経済学を専攻していました。

農研機構の良いところ

職場全体が柔らかい雰囲気職場環境はとても良いです。業務以外では、年次有給休暇を計画的に取得できるので、予定が立てやすいです。私は田植えの時期に土日有休を合わせて取得し、山形の実家に帰って田植えを手伝うのにも利用しています。職場の皆さんから「田植えがんばれよ」と応援されるのは農研機構ならではのね。



会計課の皆さん

\\こんな人\\

折原さんは野球少年だったそうです。だからなのか、さわやかで、誠実な人柄です。昼休みにはキャッチボールをする姿も見られます。



同僚
金子

次ページ...健全無病な原原種の生産:技術系(種苗管理)

栄養繁殖性のジャガイモ・さとうきびは、種苗がウイルス病や細菌病などの病害に感染すると、病害がまん延してしまいます。そこ

で種苗管理センターは、厳格な管理の下、健全無病な原原種(元だね)を生産・配布しています。





病気や品種混合は絶対にしないようにして、芽が大事なのでつぶさないように大事に扱っています。

種苗管理センター
沖縄農場 業務部
馬淵 琴音 調査員

沖縄に来てからカマも上手に扱えるように



後志分場では、実際に畑に植える品種をどう配置するかなどの栽培管理を行っています。

種苗管理センター
北海道中央農場 後志分場
志賀 敏秀 調査員

以前から大きな農機の操作もできるようになったそう

なぜ農研機構へ？
 大学で種の発芽や種に関する研究をしていた時に、実験に関することをつくばの種苗管理センターへ聞きに行っただけです。あれこれ聞いていたうちに、種苗管理センターの仕事に興味を持ったのと、職場が和やかな感じで落ち着いていて、職員も親切に何でも教えてくれて雰囲気がとても良かったし、勉強したことも活かせるかなと思っただけで採用試験を受けました。

仕事の内容
 健全無病な状態のさとうきびの元だねを作っています。沖縄の主要な農産物なのでやりがいがあります。元だねを使って農家の人達がさとうきびを栽培し、砂糖の原料となるので、大事にしないとイケないと思っています。

職場
 さとうきびについて何もわからず沖縄にきたので、一から教えてもらいました。2年携わってきて少しはわかるようになりましたが、ちょっとした違いで品種を見分けるのはまだまだです。今年、先輩が3名入ってきたので、質問された時に上手に答えられるように、もっと勉強していきたいなと

作業はめちゃくちゃ暑いけど自然は豊かだし、星も海もきれいです。



なぜ農研機構へ？
 大学院修士課程では、イネの葉の形がどのように作られているのかを研究していました。就職活動の際には、日本の農業のために役に立てること、また、農学を活かすことができる仕事をしたいと考えていました。就職先をいろいろ探す中で見つけたのが、農研機構種苗管理センターでした。採用が決まった時は、やりがいのある仕事をすることとなり、身がともも引き締まる思いでした。

仕事の内容
 ジャガイモは種イモにより増殖されるため、病気が種イモ生産ほ場に伝染しないように、種苗管理センターで健全無病な種イモを生産しています。出荷する際に、一定数のイモを抽出し、冬の間にそのイモを温室内に植えて、病気がかかっていないかどうかを検査します。実際に、畑に植えている状態で、病気がかかっている株などがあれば、株を抜き取って処分する仕事もなっています。

職場
 職員と契約職員の方も合わせて20人程度です。小規模ですが、そのぶん職員

ジャガイモは北海道の重要な農産物です。ここからは健全な種イモを配布するよう心がけています！



真面目で、深い知識を持った人物です。



同僚の関口桃乃 調査員(左)、青木勝法 職員(右)

農研機構について
 実験室でビベットの扱うラボ作業から、トラクターに乗って行うほ場作業まで、いろんな仕事ができるのが魅力だと思います。沖縄農場だと、苗を出荷するために職員総出でさとうきびを収穫するのですが、皆で協力して大きな作業に取り組む一体感はとても魅力がありますよ。種苗管理センターは、今後の農業の発展に貢献できる場所ですし、北海道から沖縄まで全国各地にあるので、各地域の文化も楽しみながら仕事ができるのがいいところだと思います。

沖縄にきて
 初めての一人暮らしで、家族も頻繁には来られないこともあって職場の人がいろんなことを気にかけてくれます。とてもありがたいです。

周りに気を配りながら、熱心に仕事しています。職場を明るくしてくれます。



清原昭宏 業務部 部長

沖縄の海を背景に元気いっぱいな職員皆さん！



職場の皆さんと
網室



倒伏防止にヒモ張りをする



かわいいさとうきびの元だね



3mの高さまで生長するんですよ！

魅力
 私の所属する種苗管理センターでは、種苗に関する業務を総合的に担い、日本の農業に貢献しています。農研機構は、日本の農業発展のために重要な役割を果たしていると感じています。

農研機構の良いところ
 全国各地に拠点があつて、様々な業務を経験できるのも良いところです。種苗管理センターだけでも、つくばの本所、北海道に4カ所、青森県、群馬県、長野県、岡山県、長崎県、鹿児島県、沖縄県と北は北海道から南は沖縄まで、いろいろな環境で仕事をする可能性が広がります。

多様な職員の方々がいて、農業、食料、環境に関する研究開発から、成果の社会還元に貢献しているのはすごいと思っています。



種イモの選別最盛期。休憩中にパチリ！
職場の皆さんと



出荷前の種イモを詰めたコンテナの前で



種イモの袋詰めと選別

次ページ...教えて!なるりん 農研機構って、どんなところ？

農研機構で働く令和4年度新規採用職員の生の声「私たちの職場自慢」や、「ダイバーシティ推進」のための取り組み、おすすめの

ウェブページなど、農研機構ダイバーシティ推進キャラクターの「なるりん」がご案内します。

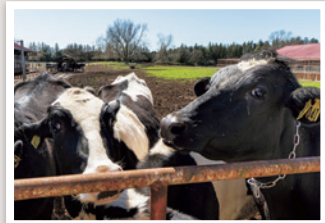




【世に出る前に】

品種

その3 多種多様な品種の稲を見ることができることです。
 (茨城県、技術支援系)
 食味調査で、世に出る前の新品種を誰よりも早く食べることができます。
 (茨城県、技術支援系)



動物

ウシの放牧風景です。気持ちよさそうに日光を浴びている姿は見ていて大変癒されますし、近くで見ていると寄ってきてくれるのでとても可愛らしいです。
 (茨城県、研究職員)



地域

八ヶ岳連峰の夕焼け。夕日が山肌を赤く染めます。
 (長野県、技術系)
 綺麗な冬の雪景色。
 (北海道、技術支援系)

ほ場

ばれいしょの畑、農場から見える海。
 (長崎県、技術系)
 収穫時期に田んぼ一面が黄金色に輝くところです。他にも、天気によければ、富士山などが見えることです。
 (茨城県、技術支援系)



先端

ロボトラの自動操舵に関する試験はより先進的で省力化に期待が寄せられています。
 (北海道、技術支援系)



私たちの職場自慢

令和4年度新規採用職員84人に聞きました！
 農研機構の拠点から見える景色や、研究の現場ならではのエピソードなど、職員の生の声をご紹介します。

【絶景】

その1 桜並木は圧巻です！

桜

農林団地にある、春になると桜の花がアーチのようになる桜並木の景色。初出勤の朝、社会生活のスタートを応援してもらっていると感じました。
 (茨城県、事務系)



ぼくに任せて！
 いろんな人に話を聞いたら！

ねえ、なるりん！

もっと農研機構のことを知りたいな。

農研機構
 ダイバーシティ
 推進キャラクター
 なるりん

広報課
 新人・小西

職場環境

一時預かり保育室「なるりんルーム」が同じ建物にあるので、時折聞こえてくる子供たちの声に癒されながら仕事をしています。
 (茨城県、事務系)
 事務、技術職、研究職の方々がお互いを尊重できており、仕事がしやすい。
 (茨城県、研究職員)

感謝

実験で犠牲になった動物を弔う畜魂祭が年一回行われます。
 (茨城県、事務系)

田植え

田植えの時期になると、研究室の方総出で田植えを行います。毎年的一大イベントです。
 (茨城県、技術支援系)



研究者も参加します！

学ぶ

業務で裁判の法廷を見ることができ、土業の上司から仕事の知識やノウハウなどを教えていただけることはすごいと思います。
 (茨城県、事務系)

職場レク

野球好きの方が集まって、定期的に交流試合を行っているようです。私は応援で参加させていただいたのですが、観戦しているだけでもすごく楽しかったです。
 (茨城県、事務系)

歴史

資料館とショールームがあり、今昔様々な農機を見学することができます。
 (埼玉県、研究職員)



広大な敷地

他部署に行く時に車や自転車で移動する程、敷地が広い！
 (茨城県、事務系)
 ほ場での調査。良い運動にもなっています。
 (茨城県、研究職員)



一人ひとりが力を合わせ、食と農の未来を創る



今回登場したのは、農研機構で働く3,200人超の職員のごく一部です。研究者はもちろん、技術や専門的な知識で研究者を支える者がいます。研究部門と連携し、農業の基盤となる種苗に関する業務を担う者もいれば、日本の家畜防疫のために働く者もいます。勢いのある若手から、経験豊富なベテラン、海外にバックグラウンドを持つ人も多く、育児や介護と仕事を両立させて活躍する人もいます。様々な立場の人が力を合わせて食と農の未来を創る場所、それが農研機構です。ひとりでは難しくても、向上心をもって新しいことに取り組むことができる、周りとのコミュニケーションをとって協力できる、自ら考え行動できる、そんなパワーと熱意ある人が集まれば実現する未来があります。私たちと一緒に、日本の農業を強い産業とすべく挑戦してくださる方との出会いに期待します。(農研機構 採用担当)

農研機構がよくわかる！おすすめページ

新規職員採用サイト

イノベーションで社会に貢献！
 食と農の未来をみんなで創ろう
 2023年度新規採用職員採用サイト

NARO channel

ダイバーシティ推進

生き生きと働ける職場環境を整え、多様な人材が活躍できる職場です

男性も女性も、仕事と家庭生活をスムーズに両立できるよう、農研機構では育児・介護に関わる制度を整えて、職員のワーク・ライフ・バランスを支援しています。

インタビュー集「農研機構のひと」



男性職員の育児参画も推進しています。



なるパパ



なるママ

「農研機構のひと」では、子育て中の女性職員にもインタビュー。見てね！

両立支援ガイドブック



えるぼし
 (認定段階3)
 取得



くるみん
 マーク取得

一時預かり保育支援

一時預かり保育室 / 民間託児所又はベビーシッターの利用支援



ダイバーシティ推進

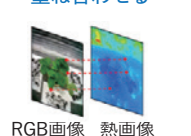
プレスリリース

PRESS RELEASE

■熱画像とRGB画像それぞれから作成した3次元像の統合

従来の方法(2次元)

様々な角度から見た画像を一つ一つ重ね合わせる




RGB画像 熱画像

・立体構造は読み取れない

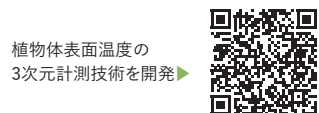
新規開発技術による方法(3次元)

形状・色・温度分布が一体化した3次元像を得られるため、任意の角度から見たデータを容易に抽出できる



RGB画像の3次元像 統合 熱画像の3次元像

・任意の領域の面積・体積・温度データを抽出できる



編集後記

広報なるNo.29「特集 農研機構で働く。」は、いかがでしたか。制作スタッフ4名で北海道から沖縄まで全国7拠点を訪ねました。茨城県つくば市の本部各所はもちろん、雪景色の北海道に、雷雨後の虹が美しかった秋田、静岡では富士山を間近に望み、11月とは思えない日射しの強さに驚いた広島・福岡、そしてコバルトブルーの海がまぶしい沖縄。同じ機関で働いていても全く知らなかった業務に触れ、電話やメールでしか話したことのない仲間たちと直接会うことができました。初めて知ることばかりでワクワクした私たちの思いも、今号を通して伝えられたいです。(1)



植物全体の温度状況把握を可能にする3次元計測技術

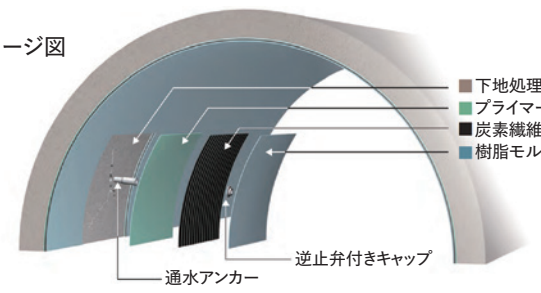
植物体の表面温度のデータは、生育状況の推定や生理的な障害の有無の把握などに利用されています。通常、植物体の表面温度分布とその温度を示す部位の正確な特定のためには、熱画像と光の三原色で表現するRGB画像の2種類を同一画角で撮影して対象を重ね合わせる必要があります。しかし、従来技術で重ね合わせられるのは2次元画像のみで、隠れた部位で起きた生理障害を見落とすことがありました。そこで農研機構では、植物体の立体形状や色、表面温度分布が一体化した高精度な3次元データの取得技術を開発。植物全体の温度状況を把握できるため、収量や品質に影響するような生理応答を検出し、総合的な生育診断を行えます。

炭素繊維シートによる水路トンネル補強工法を開発 — 劣化した水路トンネルの長寿命化に貢献 —

農業に必要な水を農地に運ぶ農業用水路のうち水路トンネルは、崩落などの事故があると送水が停止され農業生産に大きな被害を及ぼします。水路トンネルの補強工事は大規模になる場合が多く、迅速な実施は難しい状況でした。農研機構は、島根大学、日鉄ケミカル&マテリアル(株)、オリエンタル白石(株)と共同で、トンネル内側を覆っているコンクリート(覆工コンクリート)に炭素繊維シート*を接着することにより、老朽化した水路トンネルを補強する工法を開発しました。軽量で強度が高い炭素繊維シートの利用により、補強工事にかかる費用を大幅に軽減でき、部分的な補強も可能です。

*炭素繊維:軽量、高強度、高弾性、高耐食性などの優れた特性をもつ高性能無機繊維


■工法のイメージ図



■ 炭素繊維シートによる水路トンネル補強工法を開発

- 下地処理
- プライマー
- 炭素繊維シート
- 樹脂モルタル

逆止弁付きキャップ 通水アンカー



PICK UP!

なるチャンネル

NARO CHANNEL



動画で見る
「美味しいみかんの作り方」

農研機構は、甘くて美味しいみかんを安定的に生産する技術「シールディング・マルチ栽培(S.マルチ)」を開発しました。S.マルチの解説を含めた、みかん栽培に役立つ動画をシリーズ(#1~11)で公開しており、NAROチャンネルの中で再生回数の多い動画になっています。今回はそのシリーズの中から2本をピックアップして紹介します。

【みかん栽培】#4 水管理のポイント



見てみよう!

樹に乾燥ストレスがかかるとみかんは甘くなりますが、乾燥の程度が強すぎると樹が弱くなってしまいます。適度な乾燥ストレスを維持する水管理のポイントを紹介します。

【みかん栽培】#7 毎年果実をつける技術



見てみよう!

みかんには、豊作だった次の年に不作になる「隔年結果」という性質があります。これを防いで毎年安定して果実をつけるための、花や枝の数を管理する方法を解説します。

そのほか、幼木の管理や摘果などの解説動画や、特別編として農研機構のカンキツ専門の研究拠点である興津カンキツ研究拠点の紹介動画もあります。みかん栽培に役立つ動画シリーズは、これからも新しい動画を公開していく予定ですので、ご期待下さい。



プレスリリース

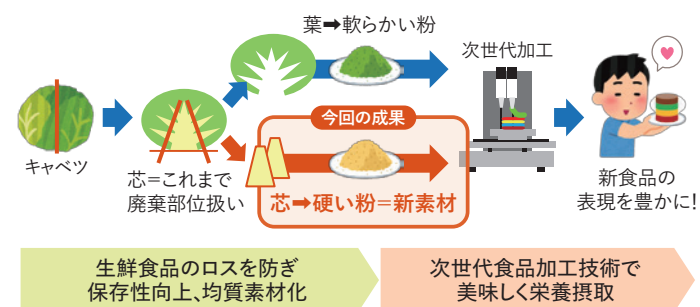
PRESS RELEASE

キャベツの芯を生まれ変わらせ新素材に! 廃棄部分の利用でフードロス削減に期待

キャベツの芯はキャベツ全体の重量の15%程度を占め、食物繊維やビタミンCなどの栄養、クロロゲン酸*など機能性成分を含んでいるにもかかわらず、葉に比べて硬いためその多くは加工の段階で廃棄されています。粉末にして料理に入れることもありますが、野菜本来の食感は失われるという課題もあります。このたび農研機構は、キャベツの芯を3Dフードプリンタで歯ごたえあるペースト状の食品として生まれ変わらせることに成功しました。本研究成果により、3Dプリント食品のような次世代食品における豊かな食感を持つ新素材としての可能性に加え、食品製造時の農産物のフードロス削減が期待されます。

*クロロゲン酸:植物に含まれるポリフェノールの一種で、体脂肪低減、食後血糖値の上昇緩和などの機能性が注目されています。

■キャベツ芯部由来粗粉末の活用イメージ



pick up

技術導入の費用対効果をサイトで確認!

「スマ農成果ポータル」を公開

農研機構は、スマート農業技術の効果や導入の際の留意点をまとめたウェブサイト「スマ農成果ポータル」を公開しました。自動運転トラクタ、直進アシスト田植機、リモコン草刈機、水田水管理システムなど9つの技術を取り上げています。当サイトでは、スマート農機を導入した場合、効果を発揮できるほかどうかを確認できるチェックリストやトラブル例、実証事例の成果も公開しています。スマート農業で機器を導入する場合、そのコストがネックとなることも少なくありませんが、スマート農業の費用対効果を見極めるツールとして、当サイトを活用いただけるようになっています。



スマ農成果ポータル

「スマ農成果ポータル」には2019、2020年度に実証したスマート農業技術148件を掲載

▶ 農研機構の旬な情報やイベントをチェック!



農研機構HP



<https://www.naro.go.jp/>



Facebook



<https://www.facebook.com/NARO.go.jp/>



Twitter



https://twitter.com/NARO_JP

農研機構は「みどりの食料システム戦略」を推進しています。

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/>



▶ アンケートにご協力ください

今回の「広報なる」はいかがでしたか?
今後の誌面作りの参考にさせていただきますので、
ご意見をお聞かせください。

アンケート回答はこちら

NARO読者アンケート

検索

